自民党 Lib Dems Liberal Democratic Party of JAPAN

会派広報

街道しずおか

自民党市議団活動報告

VOL.5　2012春号　平成24年4月1日発行

ごあいさつ

会長　鈴木和彦

日頃より、自由民主党議員団に対します、ご理解ご支援に、心より感謝申し上げます。

東日本大震災から早くも一年が経過しましたが、復興の足音は遅々として聞こえてきません。政府の対応に立腹です。

２月市議会定例会は、新年度の審議を行い全会一致または賛成多数で可決し、新年度のスタートを切る事になりました。概要をご報告致します。ご意見、ご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

議員太鼓　超党派で息ピッタリ

「地域の賑わい作りに一役買おう！」と心意気に賛同したメンバーで構成された「葵陣太鼓」は、市議会議員“超党派”で運営しています。我が自民党市議団では16名が参加し、議会活動・政治活動・陳情や地域での相談事と忙しい合間を縫って練習を行いつつ、各イベントでは演奏を行う予定です。

陣太鼓は、掛け声と太鼓のリズムでなかなか迫力がありますよ！是非一度ご覧下さい。

しぞ～かおでんフェア　議員団全員総出で大声と笑顔を

2月10日から12日までの3日間、静岡市の恒例のイベントとして成長しました「しぞ～かおでんフェア2012」に静岡市議会の有志として、我々自由民主党静岡市議団も全員で参加しました。

静岡おでんを食文化として発信し、市民の代表としてもおでんフェアを盛り上げる為出店を決め、売り上げについては、東日本大震災で被害を受けた仙台市への寄付金としました。同じ日本国民として、完全復興宣言が発表されるまで、被災地支援は継続して行っていきたいと思います。

３日間のおでん出店に関しては、本市特産品である「桜えびのかきあげ」をセットで販売し、大変好評でした。静岡のまぐろ、桜えび、しらすなどの特産品を今後は一緒に販売する機会を更に増やし、静岡の誇れる産物として市内外そして全国・世界へと発信する必要性を改めて感じました。

議員は問質す！

静岡市議会２月議会　自民党静岡市議団　総括質問内容

新東名開通を契機としたオクシズの道路整備及び活性化について質し、積極的に取組む考えが示されました。また、オクシズの自然を生かしたスポーツ・ツーリズムの推進に向け、市長から、オクシズに大勢の「山ガール」に訪れてもらうため「きれいな公共トイレ」の整備方針が示されました。

繁田　和三

①小島陣屋跡の公有地化、御殿建物移転の今後の整備計画について。②興津川承元寺取水口、八幡橋下流のテトラポット撤去と整備について。③プロ野球地元球団創設構想と清水庵原球場第二期工事の早期着工要望と中学生等の硬式野球練習場施設整備について。

遠藤　裕孝

由比漁港の新荷捌所施設は、本市の地域活性化事業本部が目指している、観光と水産業による地域支援化策の賑わいの創出による水産業の振興に欠くことのできない重要施設であります。本市に由比、江尻、用宗の漁港を拠点とする水産業振興計画の早期策定を提案致します。

望月　俊明

静岡市の経済活性化「人の集まる街づくり」から「人を集める街づくり」へについて　①中心商店街の活性化策、賑わい創出について　②浅間通り商店街活性化策について　③新東名高速道路の市内インターチェンジ周辺都市計画について　他

工藤　公彦

日本文学研究の第1人者、ドナルド・キーン米コロンビア大名誉教授が日本国籍を取得した。何が彼を動かしたのか？「愛郷心」をキーワードとした地域の担い手づくりに取り組む島根県海士町を紹介し、地域の成人を地域で祝う成人式の意義について、市長の考えを問いました。

牧田　博之

清水文化会館マリナートの会館により、混雑が予想される周辺の交通アクセスについて、どのような計画で臨むのか。また、にぎわいの創出により、地域住民の生活や、地域の経済活動の妨げにならないような配慮をされているのかなどを質しました。

伊東　稔浩

政策プロジェクト

港湾議員連盟研修会

１月24日、東部勤労者福祉センターにおいて「清水港・みなと色彩計画推進協議会」アドバイザー会議座長を務める東海大学海洋学部教授の東惠子氏を講師に招き、『地域と連携した美しい港まちづくり「清水港・みなと色彩計画20年の取組み」』と題した講演会を開催しました。清水港が「産業空間」としての港から、市民に親しまれる港へと変わる大きな要因となった「清水港・みなと色彩計画」について、シンボルカラーの設定や配色方針、届出制などの計画立案段階から現在までの20年間で作り上げた企業・行政・大学と協働した取組みについて説明を受けました。

沢入･鈴木･剣持･杉山･近藤･栗田･井上･石上･増田･遠藤･佐地･亀澤･浅場･繁田･牧田･大村･望月･早川･工藤

コンパクトデザインシティ建設グループ

お茶の始祖聖一国師(葵区栃沢出身)が南宋時代６年間学んだ径山萬寿禅寺を訪問した。同寺は現在、南宋時代のものを復元する為、大規模な発掘と整備が行われている。中国国内には南宋時代のものが殆ど残っておらず、聖一国師など留学生が日本へ持ち帰った資料を求めて日本を訪問する機会が増えているとのこと。杭州市仏教会との懇談の中で、釋会長から次のような話があった。「東日本大震災での日本人の整然とした姿には感じ入った。このモラルの高さは日本人の教育水準の高さを示している。また、あれだけの津波被害を受けながら、食中毒や伝染病等の衛生面で問題が起こる事もない、インフラ整備が充実していることの証明だ。」

杉山･遠藤･鈴木･近藤･剣持･望月･三浦･沢入･石上

Click!

私たちの会派の活動内容を書きのホームページでご覧になれます。

http://shizujimin.web.infoseek.co.jp/

●議員紹介●調査研究活動●議会活動●政策提言●広報誌●ニュース●お知らせ等々

身近な議員の活動状況が覗けます。ぜひ一度クリックしてみてください。

■発行責任者／自由民主党静岡市議団
〒420-0853
静岡市葵区追手町５番１号
TEL.054-254-2111(内線4511)